

おはようございます。
レツカちゃんです。

よし

今日はそこまで

あ、ええ

飯にしよう

今日も師匠のご指導の元、
頑張って鍛錬しています！

この私と師匠の間には
特別な決まりがあります。

今日何す、わな

それは…

ええ



この師匠に一度でも勝つことで
師匠に認めてもらえること

ほう

不意打ちか

タイミング

角度 悪くない

だが技の質が酷い

威力

狙い

芯の強さ

全て落第点だ

ウッ…

グサッ

いつもダメ出しされます。

おっと

17
P2

でも負けません！

!?…ビリッと来る、この威圧感。

ハンパじゃない…！

…まあ

殴ってきたってことは
つまり…

…ハイッ

「試験」

始めていいんだな？

お願いしますッ！

今までの成果を師匠にぶつけて、
「試験」に合格してみせます!!



あッ



犯ッ…アッ…され…ッて…♡た…ッ種…付けッされ♡アッちゃ

まあ

動きは前より良くなった。
足の速さはお前の長所だな。
上手く活かすといい。

あれ…

ししょー…なんか
いつてる…あたまちかちか
してて…わかんないや…

ただ、速さに
頼りすぎだ。
もっと脚を…

聞いてんのか
バカオナホ!!

そのザーメンの
詰まったボテ腹に
蹴りいれてやろうか!?

この後、弟子ちゃんは師匠に腹を何度も蹴られてザーメンが全部噴き出た後、
もう一度犯されて今度は意識がぶっ飛んだ。

ボテ

ドポォッ